

臨床研究「脊髄小脳変性症（SCD）患者の脳血流低下に関する脳画像解析」について

筑波大学附属病院神経内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

脊髄小脳変性症(SCD)の患者さんは、脳血流シンチグラフ検査結果から小脳及び脳幹の血流の低下が認められています。病気を発症してからの期間や症状の現れ方によって脳血流がどの程度低下するか解析し、その結果を今後の診療に役立てたいと考えています。

② 研究対象者

2003年1月1日から2017年6月31日までに当院で脊髄小脳変性症（遺伝子型 SCA3, SCA6, SCA31, DRPLA）と診断され脳血流シンチグラフを受けた患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年12月31日まで

④ 研究の方法

脳血流シンチグラフ上の脳血流低下部位を確認し、病気を発症してから期間や症状の現れ方との相関関係を解析します。

⑤ 情報の項目

脳血流シンチグラフ結果画像、診療情報（発症時期、症状、年齢、性別）

⑥ 研究機関名および研究責任者名（情報の管理について責任を有する者）

筑波大学附属病院・神経内科 准教授 石井一弘

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いにつきましては、個人を特定できない形式に記号化した状態で管理しますので、個人情報が外部に漏れることは一切ありません。また、研究成果が学会や学術雑誌で発表されるときでも、あなたの個人情報は厳重に守られ、患者さんを特定されることはありません。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名： 神経内科 石井一弘

電話・FAX：029-853-3224(平日 9:00～17:00)